

特別支援教育について

特別な教育的支援が必要なお子さまのための学習の場として、小学校・中学校に特別支援学級（固定学級・通級指導学級）、特別支援教室などを設置しています。

特別支援学級や特別支援教室のご利用をお考えの方や就学先について悩まれている場合は、教育センター就学相談担当へご相談ください。

1 就学相談とは

子どもたちが自信と意欲を持って生き生きと学び、能力を伸ばしていくためには、適切な教育や支援を受けることが必要です。就学相談は、さまざまな発達の違いや行動に課題がある児童・生徒のために、より良い教育環境を考えていく出発点となる相談の場といえます。

保護者と就学相談員との面接で、一人一人のライフステージを見通しながら、保護者がお子さまにどのような教育を受けさせたいかなどの希望を伺い、お子さまの可能性を最大限に伸ばすためにはどのような教育環境や教育内容・方法が必要かを一緒に考えます。

お子さまの様子は、保護者の同意を得たうえで、専門委員がさまざまな検査や観察、また現在利用されている施設・医療機関などからの資料を参考に把握し、具体的な支援や就学先をご提案させていただきます。なお、プライバシーの保護には十分配慮しています。

保護者の要望があれば実際に特別支援学級・特別支援学校などの説明会や見学会に参加いただくことも可能です。

〈就学相談の流れ〉 教育センター就学相談担当 電話：03（3590）6746



相談受付

保護者から、オンラインまたはお電話でお申し込みください（詳細は教育センターホームページをご覧ください）。
※入学後は、在籍の学校へご相談ください。

面接

担当する就学相談員と親子で面接します。面接や、ご提出いただく資料をもとに相談資料を作成します。

就学相談委員会

専門委員が相談の資料やお子さまの様子から適切と思われる具体的な支援や就学先をご提案させていただきます。

※必要に応じて、学校見学・体験入級ができます。

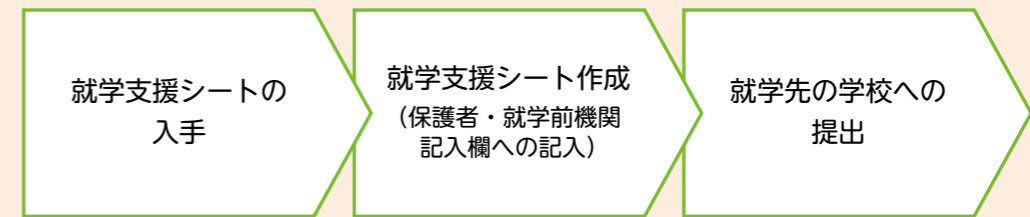
就学先の決定

新入学で豊島区立の小学校・中学校に決まった場合は、就学先決定後に入学通知書をお送りします。

「就学支援シート」について

「就学支援シート」は、お子さま一人一人が豊かで楽しい学校生活を送ることができるよう、保護者と幼稚園・保育園・療育機関とが協力して作成し、お子さまが就学する学校に引き継ぐものです。作成したシートは保護者の方が直接小学校へお持ちください。提出は任意です。

学校では、「就学支援シート」をもとに、校内での教育支援を進めます。



「就学支援シート」の活用を希望される方は、教育センター就学相談担当までご相談ください。
※豊島区ホームページ（特別支援教育のページ）からもダウンロードできます。



2 特別支援学級（固定学級・通級指導学級）、特別支援教室

①特別支援学級 固定学級【知的障害】

発達に遅れのある児童・生徒を対象として設置され、児童・生徒はこの学級での学習を基本とし、一人一人の状況に応じて、通常の学級における交流及び共同学習も行います。

◆ 小学校設置校

学校名	学級名	所在地	学校電話
西巢鴨小学校	たけのこ学級	西巢鴨 1-27-1	03 (3918) 6345
朋有小学校	竹の子学級	東池袋 4-40-1	03 (3987) 6275
池袋第三小学校	あゆみ学級	西池袋 3-14-3	03 (3984) 8501
長崎小学校	五組	長崎 2-6-3	03 (3956) 8146
要小学校	すずかけ学級	要町 2-3-20	03 (3956) 8151

◆ 中学校設置校

学校名	学級名	所在地	学校電話
巢鴨北中学校	六組	西巢鴨 3-17-1	03 (3918) 2144
西巢鴨中学校	四組	南大塚 3-18-1	03 (3986) 0661
西池袋中学校	六組	西池袋 4-7-1	03 (3986) 5427

②特別支援学級 固定学級【自閉症・情緒障害】

知的障害のない自閉症・情緒障害等の児童・生徒を対象とし、異学年の児童・生徒で編制される少人数の学級編制で授業を行います。児童・生徒は、この学級での学習を基本とし、一人一人の状況に応じて、通常の学級における交流及び共同学習も行います。

◆小学校設置校

学校名	学級名	所在地	学校電話
南池袋小学校	けやき学級	南池袋 3-18-12	03 (3987) 6278
池袋第一小学校	かしわ学級	上池袋 4-28-1	03 (3916) 3435

◆中学校設置校

学校名	学級名	所在地	学校電話
池袋中学校	E組	池袋本町 1-43-1	03 (3986) 5435

③特別支援学級 通級指導学級【難聴・言語】(小学校のみ)

話すこと・聞くことに課題のある児童に対し、聴力の活用、発音の改善等の指導を行う学級です。対象となる児童は、難聴・言語障害通級指導学級の設置されている学校に通級して学習します。

学校名	学級名	所在地	学校電話
池袋小学校	ことばときこえの教室	池袋 4-23-8	03 (3986) 2858

④特別支援教室 (小学校・中学校)

教育活動の一部において、特別な指導を必要とする児童・生徒を対象に設置しています。児童・生徒は、通常の学級に在籍し、学習活動の一部(週1回1～2時間程度)を特別支援教室で受けます。拠点校の教員が児童・生徒の在籍する学校を巡回して指導します。

◆小学校…区内を6つのブロックに分け、6つの拠点校が設置されています。

拠点校	巡回校	拠点校	巡回校
朝日小学校 (教室名：ひいらぎ)	仰高小学校	目白小学校 (教室名：あおぞら)	池袋第三小学校
	駒込小学校		高南小学校
	清和小学校		椎名町小学校
池袋本町小学校 (教室名：たんぼぼ)	西巣鴨小学校	長崎小学校 (教室名：ひまわり)	富士見台小学校
	池袋第一小学校		要小学校
	池袋小学校		高松小学校
南池袋小学校 (教室名：くわのみ)	巣鴨小学校	千早小学校 (教室名：あすなろ)	さくら小学校
	豊成小学校		
	朋有小学校		

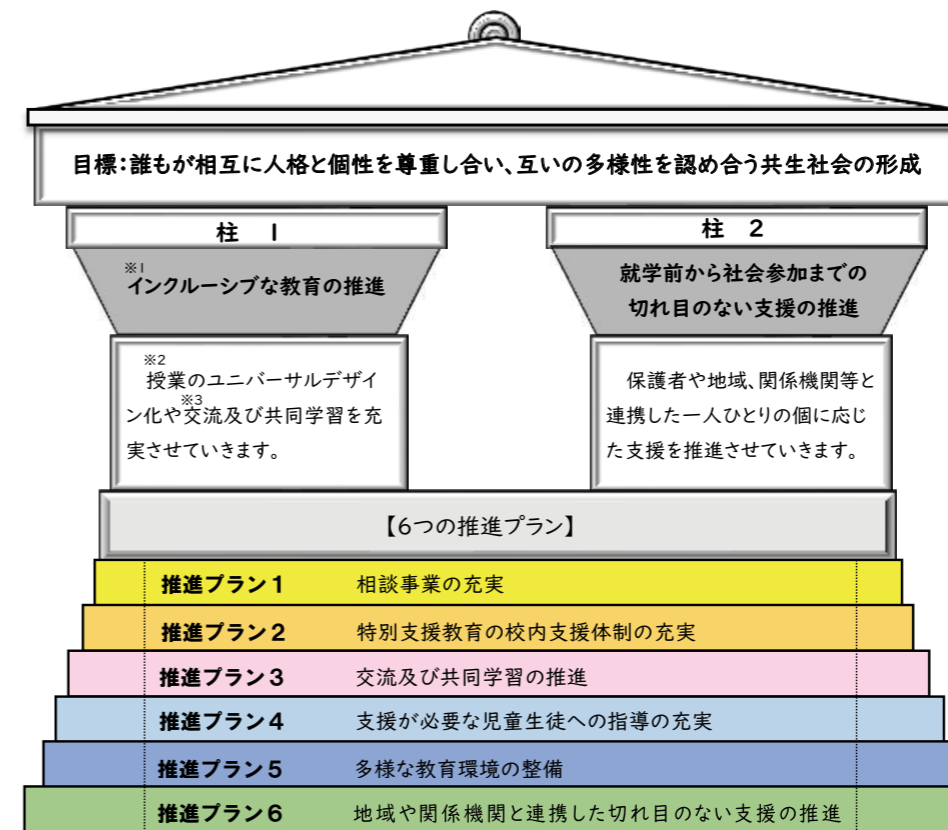
◆中学校…区内を2つのブロックに分け、2つの拠点校が設置されています。

※中学校では特別支援教室を「S-room」と呼んでいます。

拠点校	巡回校
巣鴨北中学校	駒込中学校、西巣鴨中学校、千登世橋中学校
千川中学校	池袋中学校、西池袋中学校、明豊中学校

豊島区特別支援教育推進計画【第二期改訂版】の策定

令和7年3月に、「豊島区特別支援教育推進計画 第二期改訂版(令和7年～9年度)」を策定しました。本計画を基にして特別支援教育の充実を図り、目標「誰もが相互に人格と個性を尊重し合い、互いの多様性を認め合う共生社会の形成」の達成を目指します。目標を支えるのが2本の柱です。この2本の柱の内容を踏まえた具体的な取組目標を、6つの推進プランとしてまとめました。教育委員会が計画の達成に向け全体の進捗状況を把握して指導・助言を進めてまいります。



- ※1 豊島区では、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ場を、現在の環境の中でできる限り設定。児童・生徒等が将来社会で参加及び貢献できるように、一人一人の力を最大限に伸ばすことが目的。
- ※2 学校では、障害のある児童・生徒等を含む、すべての児童・生徒等が分かりやすく、参加できる授業。
- ※3 障害のある児童・生徒等と障害のない児童・生徒等が活動を共にする機会。

6つの推進プラン

推進プラン1

相談事業の充実

- 臨床心理士・公認心理師による相談事業を実施します。
- 就学前から小学校入学へのスムーズな移行ができるようにサポートを行います。

推進プラン2

特別支援教育の校内支援体制の充実

- 児童・生徒等の困り感に寄り添った、学校の組織的対応の実現を目指します。
- 補助員・指導員を配置し、学習面や行動面での支援を図ります。

推進プラン3

交流及び共同学習の推進

- 教職員や保護者へ意義やねらい等についての理解促進を図ります。
- 体験的活動による交流及び共同学習の充実を図ります。

推進プラン4

支援が必要な児童生徒への指導の充実

- 個別指導計画を作成する等、一人一人に合わせた支援を行います。
- 教職員向けの研修により、特別支援教育に関する専門性向上に取り組みます。

推進プラン5

多様な教育環境の整備

- 特別支援教育の推進に向けて多様な教育環境を整備します。
- タブレット/パソコンを活用した指導・支援方法の工夫・改善を図ります。

推進プラン6

地域や関係機関と連携した切れ目のない支援の推進

- 幼児教育の質の向上を目指し、幼児教育センターの設置を計画しています。
- 保護者や地域、関連機関と連携した支援体制を整備します。

登校支援に関する基本的な考え方(豊島区不登校対策総合計画)

令和8年3月に「豊島区不登校対策総合計画」を策定しました。本計画を基にして一人一人の状況を把握し、登校意欲・状況に合わせ様々な段階に応じた支援や連携をします。

1.未然防止の徹底	2.早期支援	3.長期化への対応
誰もが楽しいと感じる学校づくりを推進し、不登校を新たに生じさせないよう子どもの変化を見逃さず対応します。	学校に通う(教室に入る)のがつらくなるなど子どもからのシグナルを見つけ支援をします。	安心できる多様な環境や体制を作り、学校だけでなく、区全体で連携して支援します。

不登校の要因・背景は一人一人異なります。学校内の教職員を始め、学校外の機関とつながることで、一人一人の子どもに合わせて継続的に支援を行います。登校支援の目的は義務教育終了時に希望する進路実現など社会に繋がることです。

不登校児童・生徒の学びの場について

1 校内教育支援センター

学校には行けるけれど自分のクラスには入れない時や、少し気持ちを落ち着かせてリラックスしたい時に利用できる、学校内の教室等を活用した部屋のことです。豊島区では全区立中学校に設置されています。

令和8年度2学期以降には全区立小学校にも随時設置していきます。開設時間は各学校により異なります。

2 柚子の木教室（教育センター）

様々な理由で学校に行かない小・中学生のお子さまに対し、少人数での学習や生活体験などを通し、状況に応じた支援を行います。入級希望者は、各学校を通して手続きが必要です。見学はいつでも受け付けています。豊島区立学校に在籍、または豊島区在住の小・中学生が対象です。

3 チャレンジクラス（登校支援学級）スリジエ（西池袋中学校）

西池袋中学校に設置されている1学年最大10名程度の登校支援学級です。豊島区立中学校に在籍または豊島区在住の不登校（不登校傾向含む）生徒が対象です。

スリジエの特徴

- ・体験的な学習や行事等を通し、生徒の主体性を大切に、チャレンジする意欲を育みます。
- ・定期的に本人や保護者と面談しながら個別の支援計画を立てます。

【不登校のご相談】

※HPリンク：<https://www.city.toshima.lg.jp/594/2405290959.html>

